



魚津市イメージキャラクター

ミラたん

魚津市プレスリリース 平成30年1月4日

つくるUOZUプロジェクト（新分野産業育成事業）
「UOZUゲームハッカソン」開催結果について

「つくるUOZUプロジェクト（新分野産業育成事業）」では、魚津市の地理的制約を受けず、若者が魅力的に感じる新分野の産業として「ゲームの開発・運営」に着目し、人材育成・創業支援・企業誘致等を通じたものづくり産業の活性化を図ることを目的とした事業を実施しています。

12月に開催しました「UOZUゲームハッカソン」は無事終了いたしました。開催結果について、以下のとおりお知らせいたします。

- 1 開催日時 平成29年12月23日（土）10：00開会～24日（日）18：30終了
（1泊2日）
- 2 会場 片貝公民館（旧片貝小学校）
- 3 主催 つくるUOZUプロジェクト（新分野産業育成事業）実行委員会
協力 魚津商工会議所青年部
- 4 参加状況 36名
- 5 内容
 - 36名それぞれがオリジナルゲームの企画書を作成。参加者投票でより多くの票を集めた企画に対し、希望者でチームを編成。
 - 9チームに分かれてそれぞれゲームの開発に取り組む。
 - チームごとに開発したゲームのプレゼンテーションを実施。
 - プレゼン内容を踏まえ審査を実施し、優秀作品2本を表彰。
(グランプリ・審査員特別賞)

担当部署 魚津市商工観光課商工労働係

(課長：江田 直樹)

(担当：廣田 彰、谷越 愛子)

電話 0765-23-6195 FAX 0765-23-1060

E-Mail syokokanko@city.uozu.lg.jp

ゲーム開発ツール「Unity」などを使い、オリジナルのゲームを開発する1泊2日の合宿型イベントです。開発テーマは限定せず自由とします。個人参加、チーム参加どちらも可能です。初心者から経験者までが、楽しみながらともにゲーム開発を行い、完成を目指します。

ハッカソン…「ハック」と「マラソン」からの造語。一定期間集中的にプログラムの開発等を行い、アイデアや技能を競う催しのこと。IT領域のほか、商品開発や地域活性化など、多彩な領域で開催が相次いでいる。

日時：12月23日（土）～24日（日）（1泊2日）

会場：片貝公民館（旧片貝小学校）

対象：ゲーム開発に興味のある若者をメインターゲットとし、どなたでも

※宿泊を伴うため、18歳未満の方及び高校生以下の方は原則参加不可

※11/12フォーラム参加者以外の参加も可

参加費：1,000円（食費、宿泊費等無料）

日程	時間	内容	詳細
23日 (土)	9:30	受付開始	
	10:00	イントロダクション	
	10:30	アイデアソシ	面白いゲームについて、アイデアを出し合う
	12:30	チームビルディング	36名それぞれがオリジナルゲームの企画書を作成。参加者投票でより多くの票を集めた提案に対し、希望者でチームを編成。
	13:00	昼食後開発開始	
	18:00	進捗共有発表	「どのようなゲームを作るのか」「開発の進捗や問題点」をプロジェクトを用いてチーム毎に発表、全員で共有
	19:00	夕食、入浴 開発継続	開発は各自自由に続ける。 ほぼすべての参加者が25時頃まで、約半数が27時頃まで開発を続け、徹夜した参加者も10名程度いました。
24日 (日)	8:00	朝食、いっしょのクソソ	
	9:00	開発再開	
	12:00	昼食	
	16:00	開発終了 プレゼン準備	参加者は2日目もほとんど休まず、熱心に開発を続けました。
	16:30	プレゼン開始	パワーポイントや開発したゲームのデモを通じプレゼン
	17:30	審査	審査のポイントは「面白さ50%」、「完成度50%」
	18:00	審査発表	「グランプリ」及び「審査員特別賞」を各1チームに授与
	18:30	ハッカソン終了	終了後交流会（自由参加）、19時頃閉会

12/23-24「UOZUゲームハッカソン」参加状況について

参加者数 36名（募集定員 30名）
 チーム編成 9チーム（1～6名で編成）

参加者内訳

36名中、30名が「UOZUゲームフォーラム」参加者（フォーラムは匿名申込みも可能だったため、残り6名もフォーラムに参加していた可能性あり）

年代別	
18歳～22歳	…23名（能開大18名、県内大学2名、県外大学2名、県内会社員1名）
22歳～29歳	…4名
30歳～39歳	…6名
40歳以上	…3名

}（県内会社員、個人事業主等）

住所別	
魚津市在住	…6名
新川地区、滑川市、立山町等在住	…7名
富山市在住	…13名
富山市以西在住	…8名
県外在住（東京都、滋賀県）	…2名 ※実家が富山県内の学生含む

性別	
男性	…29名
女性	…7名

審査結果について

審査員 実行委員会 村椿 晃 会長／実行委員会 大愛 高義 副会長／
 富山県eスポーツ協会 堺谷 陽平 会長／柊ガルチ 茶谷 修 代表取締役

賞名	チーム名	ゲームタイトル	内容
グランプリ 賞品：クオカード1万円分&ゲーム「雷神」	ミラたんを美少女化させます (男女5名編成)	魚津迷宮～ミラメイズ～ —ミラたん美少女化計画—	迷路ゲーム 美少女化したミラたんが県内のゆるキャラと競いながら迷路を脱出する
審査員特別賞 賞品：クオカード5千円分	しんきろう (女性1名編成)	みらーじゅがー るずの冬休み	ノベル&クイズゲーム ミラージュランド、水族館、埋没林館を擬人化したキャラクターが観光スポットクイズに答える

このほか、賞からは漏れましたが「敵に球を当てる、攻撃する」「シューティングゲーム」「料理ゲーム」など多彩な作品が発表されました。

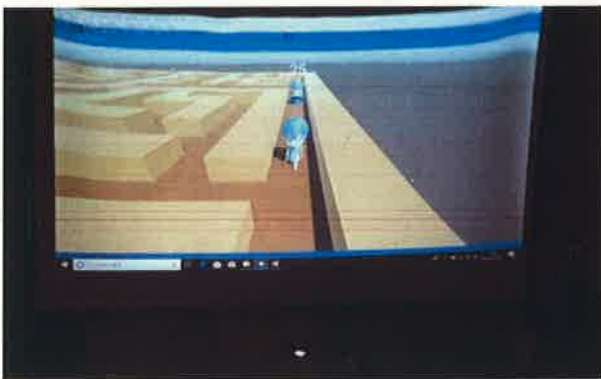
開発風景



グランプリ「魚津迷宮～ミラメイズ～」



審査員特別賞「みらーじゅがーるズの冬休み」



商工会議所青年部及び地域からの協力について

- ・寝食などのケアは魚津商工会議所青年部を中心とした実行委員会のスタッフが行い、参加者は開発に集中して取り組んでいただきました。
カレーライスやうどんなどのあたたかい料理をスタッフが手作りし、参加者からは「温かく丁寧なサポートに心が温まった」などの声が聞かれました。
- ・協賛金をはじめ、うどんやホットコーヒーの提供、参加者送迎、音響貸与、ゲーム用サウンド素材の無償提供など、市内外の19の企業から協賛をいただきました。
また、北陸職業能力開発大学の職員有志からも学生及び参加者一同へ差し入れをいただくなど、地域の企業・教育団体から本プロジェクトに対する多大なご支援をいただきました。

参加者の声（抜粋）

- ・初めて会う、素性も知らない仲間たちとひとつのものを作るという貴重な体験ができた。
- ・学校の友人たちとゲーム開発をする会を結成したいと思った。
- ・(受賞者の声) 紙に書いた簡単なアイデアが2日間でゲームになるのがすごいと思った。チームメンバーに感謝している。
- ・2日間だけでなく、もっと続けたかった。
- ・今後もこのようなイベントにぜひ参加したい。